

危機が予測される在宅精神障害者に対する危機介入モデルの生成

－病院所属の精神科訪問看護師の場合－

本研究は、精神科医療機関...訪問看護部門に所属する精神科訪問看護師による、危機が予測される在宅精神障害者に対する危機介入モデルの生成を目的として、首都圏4病院の精神科訪問看護師5名に同行し、精神障害者（統合失調症）10名の訪問看護活動を参加観察した。そのフィールドノーツをデータとし、K.Krippendorffの内容分析（Content Analysis）を用いて分析した結果、10の説明概念が見出された。「看護契約」に基づき「複合的危機予測」「アセスメント」をし、「治療的関わり」「生活支援」「家族支援」「多職種連携」を行って在宅生活の破綻を予防（予防的介入）し、危機状況に際しては、「安全性の見極め」、「緊急対応」による在宅の継続、あるいは「緊急入院の支援」（緊急介入）に至るモデルが生成された。本モデルは、医療機関を中心とした精神科訪問看護実践から作成したものであり、今後の課題である多職種、多機関の連携による危機介入モデル作成のベースになるといえる。

Keywords : 精神科訪問看護、危機介入モデル、在宅精神障害者、精神科医療機関